

Corel®
Painter® 2023

紹介ガイド



(c) 2022 Corel Corporation. All rights reserved.

Corel® Painter® 2023 基本情報ガイド

Corel、Corel ロゴ、Painter、Brush Accelerator、および Natural-Media は、カナダおよび米国、またはそのいずれかにおける Corel Corporation の商標または登録商標です。macOS は、Apple Inc. の商標です。

その他のすべての会社名、製品名、サービス名、ロゴ、ブランド、および記載されているすべての登録商標または未登録商標は、識別目的でのみ使用され、その所有権は各社にあります。第三者のブランド、名前、ロゴ、その他の情報、画像、またはマテリアルの使用はこれらを支持することを示唆するものではありません。弊社は、そのような第三者の情報、画像、マテリアル、マーク、他組織の名前の独占的所有権は保持していません。交付済み特許のリストについては、www.corel.com/patent を参照してください。

サンプルのアート作品のオリジナルは第三者によって提供され、当事者との別段の同意がない限りは、許可を得て使用または変更されます。

製品の仕様、価格設定、パッケージ、テクニカルサポート、情報（以下「仕様」）は、販売用英語版のみについてのものです。その他すべてのバージョン（他言語版を含む）の仕様は異なることがあります。

205301

目次

Corel Painter 2023.....	3
Corel Painter 2023 の新機能.....	3
作業領域の概要.....	10
作業領域レイアウトを選択する.....	11
ブラシを選択/変更する.....	13
ツールボックスについて.....	19
パネルとパレットについて.....	23
ワークフローを選択する.....	29
その他のリソース.....	41



Corel Painter 2023

Corel(R) Painter(R) 2023 は究極のデジタル アート スタジオです。その画期的な描画ツール、リアルなブラシ、クローン作成機能、カスタマイズ可能な機能により、これまでにないエキサイティングな手法で、より創造性の高い表現が可能になります。Corel Painter の感圧ブラシを使用すると、自分の手の延長のようななめらかな動きで、驚くほど高い質感や正確さを持ったブラシストロークが実現できます。さらに、独自の Natural-Media™ ブラシを作成し、ブラシとキャンバスとの反応をカスタマイズすれば、多様な方法で芸術的なアイディアを発展させることができます。Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。



Corel Painter で作成されたイメージ。Yann LeGuen によるアート作品

Corel Painter 2023 の新機能

Corel Painter は従来の制作環境の限界をはるかに広げました。

新機能! フルイドペイントテクノロジ

Painter 2023 は、これまでにないエキサイティングなフルイドペイントブラシテクノロジを導入しています。Painter のこれまでで最もスムーズなブラシマーク、およびブラシストローク全体で表示される、より大胆で、より露出度の高い、ペーパーの粒子感を提供します。高度に調整できるフルイドペイントブラシマークは、オーバラップあり、またはオーバーラップなしで累積でき、より自然なペイントおよびブレンド体験を提供します。

コンセプト、マット、コミック、漫画、アニメ、および他の従来のメディアを専門とするアーティストにメリットのある、フルイドペイントを使用すると、レイヤーに適用されたすべてのブラシストロークの不透明度を制御できます。フルイドペイントは、ソフトではっきりとしない度合いから完全に不透明まで、極めて良好なレベルの透明度および不透明度を備えた、より自然なグレーディング機能を提供します。

フルイドペイントは、**強化塗潰し**手法を使用するあらゆるブラシで作業でき、**シックペイント**と互換性があります。フルイドペイントテクノロジは、最適なブラシパフォーマンスを得るために、デフォルトレイヤーの GPU のアクセラレーションもサポートしています。詳しくは、「[フルイドペイントのコントロール](#)」を参照してください。



プロパティバーの [ペイントの不透明度] フライアウトを使用して、フルイドペイントの最も一般的に使用されるコントロールにアクセスできます。

新機能! フルイドペイントブラシ

[作成と彫刻] および [ペイントとブレンド] フルイドカテゴリからブラシバリエントを試すことで、新しいフルイドペイントテクノロジに直接、飛び込むことができます。

[作成と彫刻] で、イラスト、絵コンテ、コミック、漫画に非常に適したツールセットが見つかります。シェイプでのブロックや、色での塗りつぶしに最適なこれらのブラシは、より低い不透明度値でスムーズに累積するフルイドペイントの機能に依存しています。フルイドバリエントには、強化された粒子レンダリングと水彩、油彩の感覚でシェイプおよび構造を露出するのに最適なものもあります。



新しい [作成と彫刻] フルイドペイントブラシ カテゴリのサンプルブラシストローク ([ハッチ] (左)、[油彩彫刻] (中央)、[シェイプ ビルダ] (右))。

[ペイントとブレンド] を使用すると、イラストレータ、ファインアート、写真アーティストに適した、より従来に近い感覚のブラシがあります。これらのバリエントは、低い不透明度でスムーズにペイントするため、水彩または油彩のように感じられる場合があります。微妙に適用するペイントから、レイヤー コンテンツとの手間のかかる混合までの範囲でもブレンドします。多くのフルイドブラシは、ペーパーの粒子感をレンダリングするように改善された機能を持つように設定されています。



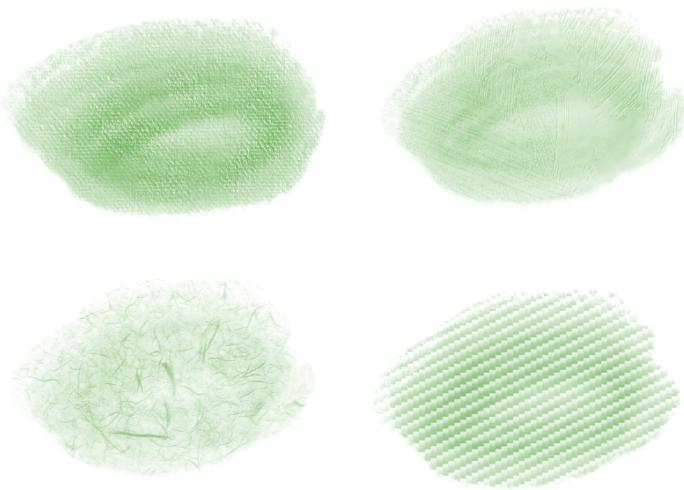
新しい [ペイントとブレンド] フルイドブラシ カテゴリのサンプルブラシストローク ([ブラシ感] (左)、[粒子感] (中央)、[ダッシュ] (右))。

フルイドブラシのカテゴリやバリエントを選択するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ**  をクリックします。
- 2 ブラシセレクタバーの [ブラシセレクタ] をクリックします。
- 3 **[フルイド]** カテゴリとブラシバリエントをクリックします。

新機能と機能強化! フルイド用紙

フルイドペイントの、表現力の豊かな粒子感の動作を利用することに特化して設計された 15 種類の用紙テクスチャのコレクションから、新しい、高コントラストの用紙テクスチャをアート作品に追加できます。



フルイドペイント ブラシストローク (用紙 [標準アーティストキャンバス]、[粗いジェッソ塗りキャンバス]、[マルベリー紙]、[炭素繊維] (左上から時計回り))

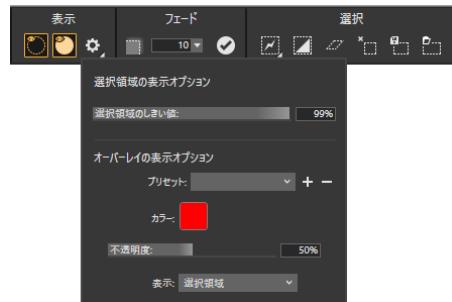
フルイド用紙テクスチャを適用するには

- 1 プロパティバーの【粒子感】フライアウトボタン  をクリックします。
- 2 【用紙テクスチャ】領域をスクロールし、【フルイド用紙】領域で用紙テクスチャのカラー タイルをクリックします。

新機能と機能強化! 選択範囲の視覚表現

多くのアーティストのワークフローに不可欠な部分である選択範囲は、(長方形のボックスのように) ハードな定義されたエッジにすることも、([マジックワンド] やブラシストロークの選択範囲のように) 透明度のある、より多くの自由形式の図形にすることもできます。Painter 2023 用に、広く使用されている選択ツールに色のオーバーレイが追加され、選択した領域の可視性を改善しています。複雑な形状を持ち、透明度のある選択範囲に特に便利なオーバーレイは、選択範囲の作成、編集、調整をスピードアップするのに役立ちます。

「クラシック」なマーキーで囲まれるか、同じ場所に色が重ねられた、またはその両方が行われた選択範囲の視覚表現を選択できます。さらに、プロパティバーの新しい【選択範囲表示オプション】フライアウトからこれらの設定にすばやくアクセスできます。Painter 2023 では、2つの色のオーバーレイ プリセットと、希望する色のカスタム プリセットを提供しています。たとえば、アート作品に赤の濃淡がある場合、選択範囲を確認しやすくするオーバーレイの色があると便利です。さらに、新しい【マーキーのしきい値】コントロールを使用すると、選択範囲に含まれているピクセル透明度のレベルを調整できます。これにより、選択範囲に低い不透明度の領域を正確に含めることができます。詳しくは、「[選択範囲を表示する](#)」を参照してください。



新しい【選択範囲表示オプション】フライアウトにより、選択範囲の可視性を迅速かつ簡単にカスタマイズできます。

Painter 2023 では、これらのコントロールは、作業の好みおよび経験レベルに合わせてプロパティバー、メニュー、[ナビゲーション]、[キャンバス] コマンドバーからすぐに利用できるようになっています。カスタムパレットを作成したり、キーボードショートカットを頻繁に使用されるツールおよびコマンドに割り当てたりすることも簡単です。

選択範囲表示オプションを設定するには

- プロパティバーの [選択範囲表示オプション] フライアウトボタン  をクリックし、以下の表を参考にして操作を行います。

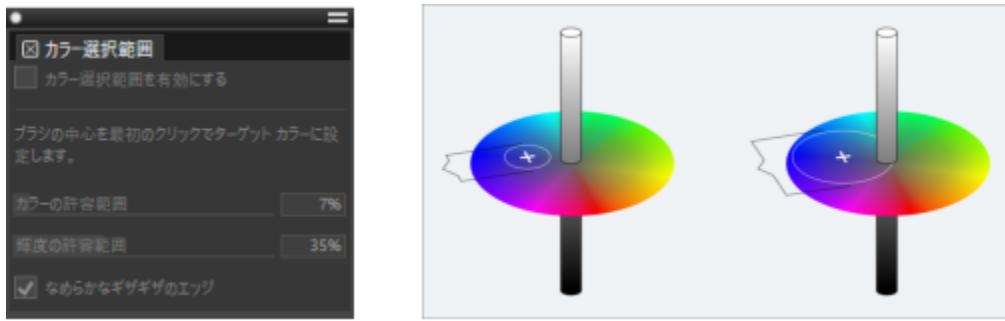
目的	操作内容
マーキーに含まれているピクセル透明レベルを設定する	[マーキーのしきい値] スライダを調節します。 値を高くすると、より低い不透明度のピクセルが含まれるようになります。
色のオーバーレイを設定します	カラー ピッカーをクリックして、色を選択します。
オーバーレイの不透明度を設定します	[不透明度] スライダを調整します。
オーバーレイ プリセットを選択する	[プリセット] リストボックスからプリセットを選択します。
カスタム オーバーレイ プリセットを作成する	[プリセットの追加] ボタン  をクリックします。 注意: オーバーレイ プリセットを削除するには、[プリセットの削除] ボタン  をクリックします。
選択した領域にオーバーレイを設定します	[オーバーレイ] リストボックスから [選択領域] を選択します。
保護された領域にオーバーレイを設定します	[オーバーレイ] リストボックスから [マスク適用領域] を選択します。
選択を完了した後にオーバーレイを表示します	[オーバーレイの非表示] チェックボックスをオフにします。

機能強化! 選択ブラシ

選択ブラシは、Painter のブラシエンジンの多用性をアーティストの選択ワークフローにもたらします。Painter 2023 用に更新された、選択範囲のプロパティバーにより、さまざまなシェイプおよびテクスチャによりすばやくアクセスできます。即座に、取り込んだ描点シェイプを変更したり、フロー マップを追加してブラシストロークを強化したりできます。さらに、Painter アーティストからのフィードバックに応えた、新しいキーボードショートカットを使用すると、追加/削除の選択範囲モードを即座に切り替えることができます。これにより、コントロールを探すのに費やす時間が少なくなり、作業中のタスクに費やす時間が増えます。詳しくは、「ペイントによる領域の選択」を参照してください。

新機能! [カラー選択] オプション

Painter 2023 では、選択ブラシを使用して任意の書類から色の範囲内で選択できるようになりました。任意の選択ブラシに対して [カラー選択] を有効にしたり、4つの新しいプリセット カラー選択ブラシバリエントの中から選択したりできます。[マジック ウィンドウ] ツールを使用する場合と同様に、許容範囲に基づいて選択する色の領域をペイントします。各特性の許容範囲を設定することにより、色および色明度の含め方を調整できます。特定のスタイルに合うように、よりソフトな、従来のアート作品から色を選択するための目立たないエッジと、コミックスタイルの精密なアート作品から色を選択するための粗いエッジの間で選択できます。カラー選択は、Painter のマスキングおよび色調整機能で作業するための優れた補完機能です。カラー選択について詳しくは、「ペイントによる色の選択」を参照してください。



新しい [カラー選択] パネルを使用すると、ブラシストロークに含まれる色を制御できます。

ペイントで色の選択領域を作成するには

- ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックします。
- [ブラシ セレクタ] で、[選択ブラシ] カテゴリをクリックし、バリエントをクリックします。
- プロパティバーの [カラー選択を有効にする] ボタン  をクリックします。
- [カラー選択オプション] フライアウトボタン  をクリックし、以下の表に示す作業を実行します。

目的

描画色に隣接した色の含め方を制御する

操作内容

[色許容範囲] スライダを調節します。

値を高くすると、色の範囲が広くなります。

描画色に隣接した色明度の含め方を制御する

[明度許容範囲] スライダを調節します。

値を高くすると、明るい色と暗い色の範囲が広くなります。

1 ピクセルのぼかしを適用することにより、選択範囲のエッジをスムーズにする

[ギザギザのエッジをスムーズ化] チェックボックスをオンにします。



カラー選択のより良い視覚表現を得るには、プロパティバーの [オーバーレイ] ボタン  をクリックします。

選択している色がオーバーレイの色に類似している場合は、プロパティバーの [選択範囲表示オプション] フライアウトボタン  をクリックし、カラー ピッカーをクリックして異なる色を選択します。

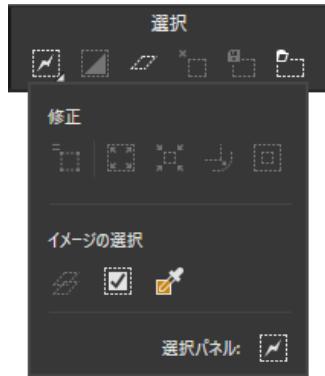
Shift キーを押しながら領域の上をペイントすることにより、選択範囲に追加できます。

Option キー (macOS) または **Alt** キー (Windows) を押しながら、削除する領域の上をペイントして、選択範囲から削除できます。

機能強化! 選択ワークフロー

Painter 2023 は、さまざまな改良点を通じて、よりスムーズで、より予測しやすい選択体験を提供します。[なげなわ選択] および [多角形選択] ツールの新しいカーソルにより、選択範囲マーキー上のドットを接続することがより簡単になりました。プロパティバーが設定をリセットおよび記憶するように刷新されました。これは、選択作業をスピードアップするのに役立つ強化です。さらに、新しい [選択範囲機能] フライアウトでは、より大きな最大サイズを持つ強化されたワンクリックぼかしなど、重要なコマンドおよび修正を昇格しました。これらは、常に手の届く範囲にあります。

また、選択の多いタスクについては、ワークスペースで [選択] パネルを開くことを選択して、保存、ロード、反転、修正など、選択範囲機能のクリック数を減らすことができます。加えて、単一ステップで選択範囲からマスクを作成できるようになりました。これは、Painter ユーザーの間で頻繁にリクエストをいたしていました。



プロパティバーの新しい[選択範囲機能]フライアウトには、最も頻繁に使用される選択範囲コマンドおよび修正が配置されています。

書類内で選択範囲(x/y位置)を移動することも、Painter 2023で信頼性が上がりました。さらに、アーティストによって報告された、選択範囲で透明なグラデーションを使用しているときの問題に対処しました。これは、創造の可能性を広げます。選択範囲について詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

機能強化! グレージングブラシ

グレイジングブラシバリエントが、**強化塗潰し**手法を使用するように更新されました。この手法は、フルイドペイントとともに使用できます。これにより、グレイジングブラシで**[フルイドペイント]**フライアウトおよびプロパティバーにアクセスできます。これらを使用すると、[ペーパーの粒子感で塗りつぶす]、[フルイドの不透明度]、[累積]、[ペイント重ね]など、関連する設定を有効にし、調整できます。

機能強化! スポイトツールと塗潰しツール

Painter 2023では、[なげなわ選択]および[多角形選択]ツールにより、前回使用した設定が記憶されます。これにより、中断したところから再開することがより簡単になりました。

機能強化! レイヤーの表示状態

ユーザーのフィードバックに応え、[取り消しできる処理の数]にレイヤーの表示状態への変更を含めるかどうかを選択できます。このオプションは、再編成された**[環境設定] ▶ [一般]**ダイアログボックスで簡単に設定しておくことができます。

機能強化! イメージを配置する

Painter 2023で**[ファイル] ▶ [配置]**を使用するとき、**レイヤーの中心に配置する**新しいオプションにより、イメージを目的の場所に正確かつ簡単に配置できます。

機能強化! 透明度のあるグラデーション

透明度のあるグラデーションで作業する場合は、Painter 2023では、グラデーションに沿ってよりスムーズで、より自然な変化を確認できます。

機能強化! ブラシサイズ変更

Painter 2023では、角カッコキー、またはWacomや他の一般的なタブレットのタッチホイールを使用してブラシのサイズを大きくするときの応答性が向上しています。

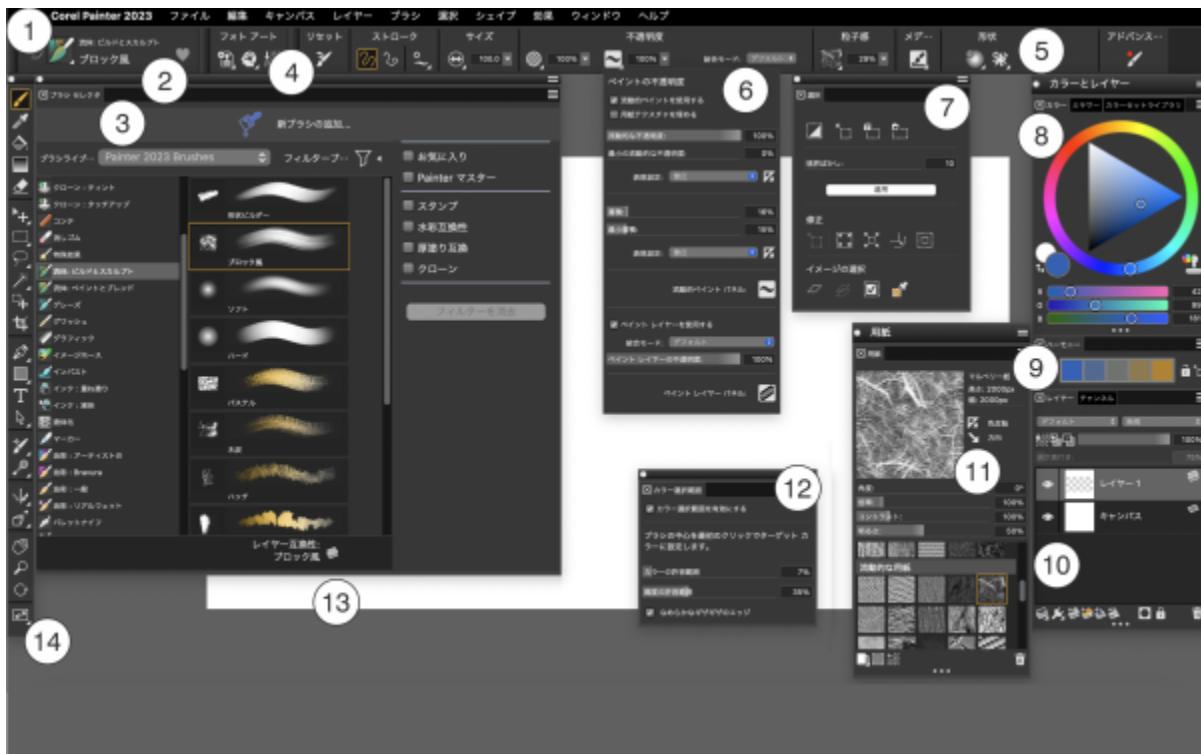
機能強化! 下の色を拾う

シックペイントレイヤーで**[下の色を拾う]**ボタンが機能するようになったため、**[互換]**シックペイントカテゴリのブラシでこのボタンを使用して、よりスムーズなワークフローにすることができます。**[ブリスル]**シックペイントカテゴリおよび**[パレットナ**

イフ】 シックペイントカテゴリのブラシは、下のレイヤーの色を拾わないことに注意してください。詳しくは、「[下のレイヤーの色を拾う](#)」を参照してください。

作業領域の概要

作業領域は、メニュー、セレクタ、パネル、およびインタラクティブ パレットに分類されています。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、アプリケーションのウィンドウのメインコンポーネントについて説明します。

コンポーネント

1. メニュー バー

説明

プルダウンメニュー オプションを使用して、ツールと機能にアクセスできます。

2. ブラシ セレクタ バー

[ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。。前に使用したブラシ バリアントにアクセスすることや、ブラシをお気に入りとしてマークすることもできます。

3. ブラシ セレクタ フライアウト

ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、ブラシ フィルタを適用して必要なブラシだけを表示したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、デフォルトレイヤー、リキッド インク レイヤー、シックペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリアントを即座に特定できます。ブラシ バリアントの上にポインタを移動すると、ブラシ セレクタの下にあるブラシ名の横に対応するレイヤー互換性アイコンが表示されます。

コンポーネント

4.コマンドバー

説明

コマンドバー（[ファイル/編集]、[キャンバス]、[フォトアート]）には、使用頻度の高いメニュー命令のショートカットであるボタンとコントロールが含まれています。

5.プロパティバー

アクティブなツールやオブジェクトに関連するコマンドが表示されます。たとえば、塗潰しツールがアクティブであれば、選択した領域を塗り潰すための各種コマンドがプロパティバー上に示されます。プロパティバーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。

6.【ペイントの不透明度】フライアウト

フレイドペイントのコントロールにアクセスできます。粒子感の動作、フレイドの不透明度、累積レベル、表現設定、ペイント重ねを調整できます。

7.【選択】パネル

縮小、シェイプへの変換、拡大、ぼかし、ロード、枠の修正、削除、復帰、スムーズ化、保存など、選択範囲機能にアクセスできます。レイヤーまたはグループから、イメージの輝度、現在または指定された色、用紙テクスチャに基づいて選択範囲を作成することもできます。

8.【カラー】パネル

カラーの選択と、選択したカラーに関する情報の表示ができます。

9.【ハーモニー】パネル

ハーモニールールを使用してカラー ハーモニーを作成できます。

10.【レイヤー】パネル

レイヤーの階層を管理し、レイヤーの作成、選択、表示、固定、削除、名前の指定、グループ化を行うためのコントロールがあります。

11.【用紙】パネル

用紙テクスチャを適用および編集したり、新しい[フレイド用紙]ライブラリなど、用紙ライブラリを開いて管理したりできます。

12.【カラー選択】パネル

ペイントによる色の選択を行うときの選択ブラシの動作を調整できます。

13.キャンバス

キャンバスとは、書類ウィンドウ内にある長方形の作業領域です。このサイズにより、作成されるイメージのサイズが決定します。キャンバスはイメージ背景としても機能し、レイヤーとは違って、常にロックされています。

14.ツールボックス

イメージを作成、塗潰し、および変更するツールにアクセスできます。

作業領域レイアウトを選択する

作業領域レイアウト（「パレット配置」とも呼ばれます）は、パレットやパネルなどの作業領域の要素を特定のワークフローに応じて表示、非表示、および位置付けするものです。Corel Painter 2023 では、以下の作業領域レイアウトが提供されます。

作業領域レイアウト

Painter の新規ユーザー向け

説明

最も基本的なコントロールが [ヒント] パネルとともに表示され、Corel Painter をすぐに使い始めることができるようになります。

Classic

使い慣れた環境のままシームレスに移行したいと考える、以前のバージョンの Corel Painter のユーザーに最適です

デフォルト

ほとんどのコンピュータで最適に動作するデフォルトの作業領域レイアウトです。詳細は、10 ページの「[作業領域の概要](#)」を参照してください。

シンプル

ツールボックス、メニュー バー、拡張プロパティ バーを含む最小限のユーザー インターフェースを表示します

コンセプト アート

ブラシ、グラデーション、テクスチャのペイント コントロールに素早くアクセスできます。画面スペースを節約するために、ブラシとメディア パレットはパレット引き出しにわかりやすく分類されています。

イラスト

[参照イメージ] パネル、ブラシ、用紙、グラデーションを表示します

ファイン アート

従来のメディア ブラシと合成ツールに素早くアクセスできます

フォト アート

写真アーティストにより一般的に使用されるパレットが表示され、フォト、テクスチャ、ペイントのクローンを作成するためには最適な設定が提供されます。

マンガアート

ブラシ、用紙、グラデーション、ブラシ サイズ、不透明度コントロールに素早くアクセスできます

クリック切り替え機能を使用すると、2 つの作業領域レイアウトを選択し、現在のタスクまたはデバイスの表示モードに応じて、それらを素早く切り替えることができます。この機能は、特にマルチモードまたはデュアルモードのデバイスを使用する場合に役立ちます。たとえば、デフォルトをレイアウト 1 として、シンプルをレイアウト 2 として選択すると、表示パネルをノートブック モードからタブレット モードに切り替えたときに、シンプル作業領域レイアウトが自動的に表示され、すっきりとした最小限のユーザー インターフェースを使用して作業できます。

作業領域レイアウトを選択するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] を選択し、レイアウトを選択します。



Welcome スクリーンからレイアウトを選択することもできます。この場合は、[設定] をクリックしてレイアウトを選択します。

作業領域レイアウトを切り替えるには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 1] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 2 [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クリック切り替え] ▶ [レイアウト 2] をクリックし、レイアウトを選択します。
- 3 レイアウト 1 とレイアウト 2 を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行います。
 - デュアルモードまたはマルチモードのデバイスの表示パネルの位置を変更します（たとえば、ノートブック モードからタブレット モードに変更するなど）。

- ・[ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [クイック切り替え] ▶ [レイアウトの切り替え] をクリックします。



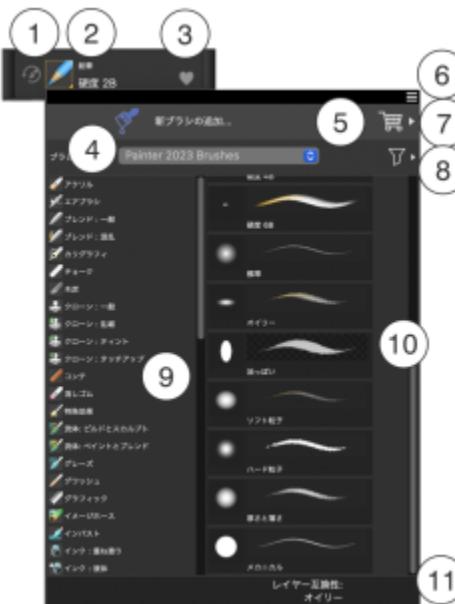
デフォルトの作業領域レイアウトやユーザーが作成したカスタム作業領域レイアウト間での切り替えも可能です。カスタム作業領域レイアウトを作成および保存する方法について詳しくは、「[パネルとパレットを再配置する](#)」を参照してください。

ブラシを選択/変更する

Corel Painter 2023 にはブラシ バリアントと呼ばれる、絵筆や筆記具のプリセットが多数用意されています。ブラシ バリアントは、「工アブラシ」、「アーティスト オイル」、「カリグラフィ」、「ペン」、「鉛筆」、「リアル水彩」といった多数のカテゴリに分類して登録されています。一部のブラシ カテゴリは現実の画材に近くなるよう設定してありますので、名前から大体どのような描き味のブラシか予想がつけられます。ただしカテゴリによっては対応する現実の画材が存在せず、これまでにない斬新な表現力をデジタル アーティストに提供するブラシも存在しています（画期的な粒子ブラシなど）。

ブラシ セレクタでは、ブラシ ライブラリを選択したり、ブラシ カテゴリからブラシを選択したり、お使いのクリエイティブなブラシ セットを補完する追加のブラシ パックを参照したりできます。また、さまざまな方法でブラシを整理し、表示することもできます。たとえば、ブラシにフィルタを適用して、必要なブラシだけが表示されるようにすることができます。また、ワークフローに合わせて、[ブラシ セレクタ] の表示/非表示を切り替えることもできます。たとえば、ブラシ ライブラリ セレクタ、最近使用したブラシ、ブラシ パック プロモーションなどの表示/非表示を切り替えることができます。

また、ブラシ セレクタを使用すると、デフォルトレイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリアントを即座に特定できます。ブラシ バリアントの上にポインタを移動すると、ブラシ セレクタの下にあるブラシ名の横に対応するレイヤー互換性アイコンが表示されます。レイヤー互換性アイコンをクリックすると、このレイヤーでペイントするすべてのブラシ バリアントを検索できます。



丸で囲まれた番号は、以下の表の番号に対応します。この表では、**ブラシ セレクタ**のメイン コンポーネントについて説明します。

コンポーネント

- 1.前回使用したブラシ
- 2.ブラシセレクタ

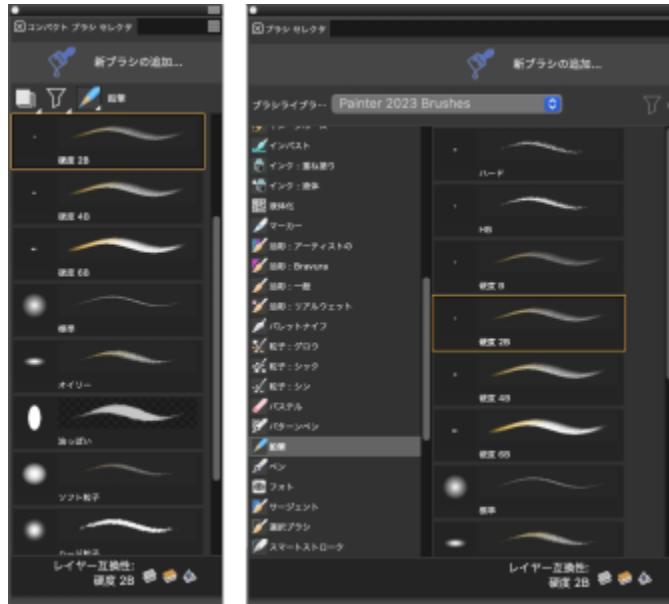
説明

- | |
|-----------------------------|
| 前回使用したブラシ バリアントにアクセスできます。 |
| [ブラシ セレクタ] フライアウトにアクセスできます。 |

コンポーネント

コンポーネント	説明
3.お気に入りとしてマーク	選択したブラシをお気に入りとしてマークすることができます。
4.ブラシ ライブラリ セレクタ	ブラシ ライブラリを選択できます。
5.[ブラシ パック プロモーション] バー	ブラシ パック セレクタにアクセスしてブラシ パックを購入できます。
6.[ブラシ ライブラリ] オプション ボタン	さまざまな方法でブラシを整理して表示するのに役立つコマンドにアクセスできます。
7.ブラシ パック セレクタ	利用可能なブラシ パックを参照できます。
8.[ブラシ フィルタ] ボタン	必要なブラシだけが表示されるように、ブラシ フィルタを適用できます。
9.ブラシ カテゴリブラシカテゴリ	ブラシ ライブラリ内のすべてのカテゴリを参照できます。ブラシ カテゴリは、同系のブラシとメディアをグループ化したものです。
10.ブラシ バリアント	カテゴリ内ブラシ バリアントを参照できます。ブラシ バリアントとは、1つのブラシカテゴリに含まれている特定のブラシとブラシ設定のことを指します。
11.[レイヤー互換性] アイコン	デフォルトレイヤー、リキッド インク レイヤー、シック ペイント レイヤー、および水彩レイヤーと互換性のあるブラシ バリアントを特定し、検索できます

Painter 2023 のブラシ ライブラリで、ブラシはカテゴリに分類されています。カテゴリとは、類似するブラシやメディアのグループです。ブラシ バリアントとは、ブラシ カテゴリに含まれている特定のブラシのことです。ブラシ セレクタは、フローティング パネルとして開いたままにしておくこともできます。こうすると、ペイント中にブラシに素早く簡単にアクセスできます。[ブラシ セレクタ] パネルにはコンパクト ビューとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、ブラシのカテゴリとバリアントがどちらも表示されます。コンパクト ビューでは、ブラシ バリアントだけが表示され、スクロールしなくてもより多くのブラシを一覧できます。



(左) コンパクト ビューでの [ブラシ セレクタ] パネル、(右) フル ビューでの [ブラシ セレクタ] パネル

ブラシ セレクタの表示/非表示を切り替えるには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

表示/非表示を切り替えるには

ブラシセレクタ

[ブラシ セレクタ] パネルがフル ビューで表示されます。

[ブラシ セレクタ] パネルがコンパクト ビューで表示されます。

操作内容

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [バー] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (フル ビュー)] を選択します。

[ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (コンパクト)] を選択します。

ブラシのカテゴリやバリエントを選択する

- ツールボックスで ブラシ ツール  をクリックします。
- ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- ブラシ カテゴリとブラシ バリエントをクリックします。

ブラシのフィルタリング

ブラシ フィルタを使えば、クリエイティブなタスクに必要なブラシだけを手元に置いておくことができます。たとえば、「シック ペイント互換」フィルタを使えば、シック ペイントと、シック ペイント互換のブラシだけを表示して、他のすべてのブラシはブラシ セレクタに表示されないようにすることができます。

Corel Painter には、「お気に入り」、「Painter マスター」、「スタンプ」、「水彩互換」、「シック ペイント互換」、および「クローン」といったブラシ フィルタが用意されています。ブラシの選択項目をさらに調整するため、同時に複数のフィルタを適用することもできます。たとえば、お気に入りの「水彩互換」ブラシだけが表示されるようにすることができます。



1 つ以上のブラシ フィルタを適用すれば、必要ではないブラシ カテゴリとブラシを非表示にすることができます。

1 つ以上のブラシ フィルタをクリアすれば、ブラシの選択項目を拡張できます。すべてのブラシ フィルタをクリアすれば、アクティブなブラシ ライブラリのすべてのブラシを表示できます。

ブラシをフィルタするには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタ バーの [ブラシ セレクタ] をクリックします。
- 3 [ブラシ セレクタ] フライアウトで [ブラシ フィルタ] ボタン  をクリックし、利用可能なブラシ フィルタ リストを表示します。
- 4 以下のいずれかのチェック ボックスをオンにします。
 - **お気に入り** — お気に入りとしてマークしたブラシだけを表示します。お気に入りブラシについて詳しくは、17 ページの「[ブラシをお気に入りとしてマークする](#)」を参照してください
 - **Painter マスター** — Painter マスターによって高く評価され、使用されているブラシだけを表示します。
 - **スタンプ** — 円形、取り込み、レンダリングされた円形、またはスタティック ブリスル描点タイプを使用するスタンプ タイプ ブラシだけを表示します。
 - **水彩互換** — 水彩ブラシと水彩レイヤーで使用できるブラシだけを表示します。
 - **シックペイント互換** — シックペイントブラシとシックペイントレイヤーで使用できるブラシだけを表示します。
 - **クローン** — クローンとクローン着色ブラシだけを表示します。

ブラシ フィルタを適用しているときには、[ブラシ フィルタ] ボタンのアウトラインが白からオレンジに変わります



ブラシ フィルタは、表示されているブラシにのみ適用されます非表示のブラシ カテゴリとブラシ バリアントは非表示のままです。

フィルタをクリアするには

- ・ [ブラシ セレクタ] フライアウトで [ブラシ フィルタ] ボタン ▾ をクリックし、以下のいずれかを行います。
 - ・ すべてのフィルタをクリアするには、[フィルタのクリア] をクリックします。アクティブなブラシ ライブラリに含まれているすべてのブラシ バリアントとブラシ カテゴリが表示されます。
 - ・ 特定のフィルタをクリアするには、そのフィルタのチェック ボックスをオフにします。

ブラシをお気に入りとしてマークする

ブラシをお気に入りとしてマークすれば、名前の隣に表示される [お気に入り] アイコンによって見つけやすくなります。ブラシ セレクタで選択したブラシをクリックして、お気に入りとしてマークできます。複数のブラシをお気に入りとしてマークする場合には、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルを使う方が簡単です。ブラシは、いつでもお気に入りのリストから削除できます。



選択したブラシ (左) は、ブラシ セレクタ バーではお気に入りとしてマークされている (右)

[お気に入り] フィルタを適用すれば、ブラシ セレクタにお気に入りのブラシだけが表示されます。

選択したブラシをお気に入りとしてマークするには

- ・ ブラシ セレクタ バーで、ブラシ名の右にある、[お気に入りとしてマーク] アイコン をクリックします。



また、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルで、ブラシを右クリックし、[お気に入り] をクリックして、ブラシをお気に入りとしてマークすることもできます。この方法は、複数のブラシをお気に入りとしてマークする場合に使用します。

選択したブラシをお気に入りのリストから削除するには

- ・ ブラシ セレクタ バーで、ブラシ名の右にある、[お気に入りから削除] アイコン をクリックします。



また、[ブラシ セレクタ] フライアウトまたは [ブラシ セレクタ] パネルで、ブラシを右クリックし、[お気に入り] をクリックして、ブラシをお気に入りから削除することもできます。この方法は、複数のブラシをお気に入りから削除する場合に使用してください。

ブラシを検索する

現在選択しているブラシ ライブラリのコンテンツを素早く検索して、具体的な指定に一致するブラシを見つけられます。検索を実行するには、1 つのブラシ属性、またはブラシ属性の組み合わせを入力します。たとえば、「鉛筆 リアル」という検索語句を入力すると、「リアル鉛筆」ブラシ バリアントのすべてのリストが生成されます。

ブラシ バリアントを検索するには

- 1 検索バー ([ウィンドウ] ▶ [検索]) で、[検索] テキスト ボックスに 1 つのブラシ属性または属性の組み合わせを入力します。
- 2 リスト内のブラシ バリアントの上にマウスを置くと、フライアウトの下部にブラシストロークのプレビューが表示されます。
- 3 リストからブラシ バリアントを選択します。



検索バーは、デフォルトではクラシック レイアウトにおいてのみ、プロパティ バーの右側、書類ウィンドウの右上隅に表示されます。検索バーをその他すべてのレイアウトで表示するには、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックします。

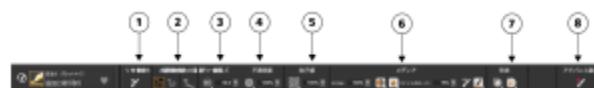


検索語として「GPU」や「マルチコア」などと入力すると、これらのテクノロジーを活かすブラシを検索できます。Intel プロセッサを使用する Mac または Windows コンピュータをお持ちの場合は、この拡張を活かすブラシを見つけるために、「AVX2」といった語句を入力して検索できます。Apple CPU を使用する Mac コンピュータをお持ちの場合は、「NEON」といった語句を入力して検索できます。

以前検索バーを非表示にした場合は、[ウィンドウ] ▶ [検索] をクリックして表示できます。

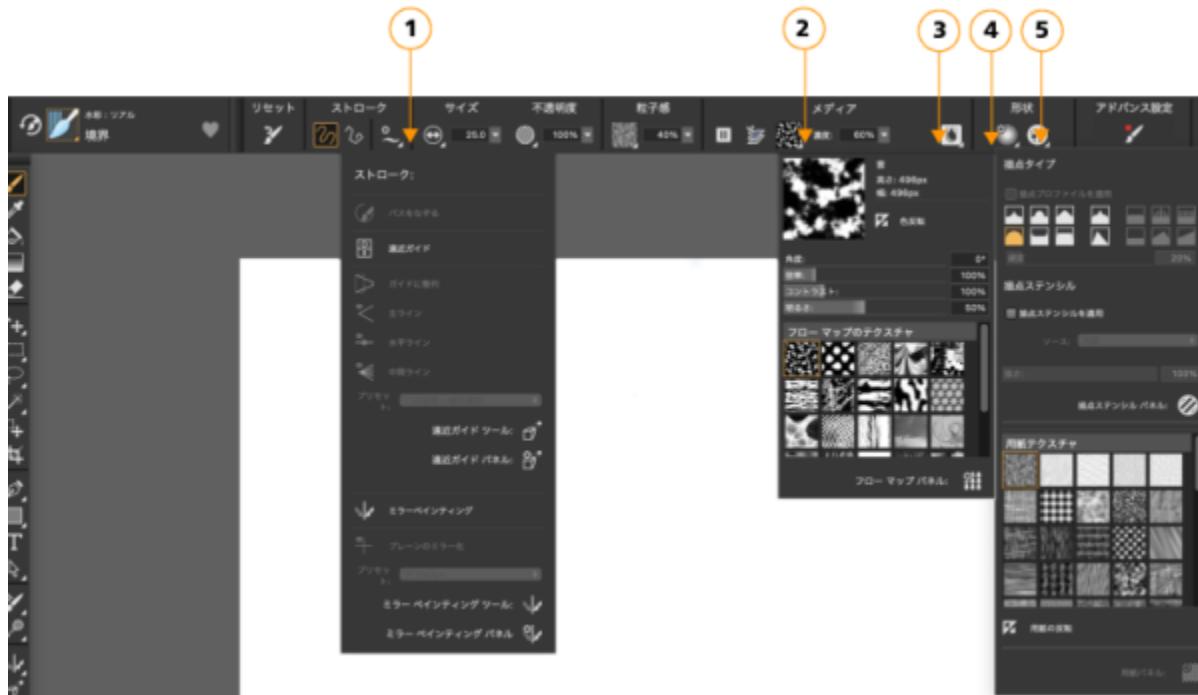
ブラシを変更する

ブラシ ツールを選択している場合、プロパティ バー上でブラシ バリARIANTを素早く変更できます。一部の基本的な属性（サイズや不透明度など）はすべてのブラシに共通していますが、その他の属性は選択したブラシ カテゴリに固有です。



プロパティ バーのコントロールは並べ替えて使いやすくできます。グループ ラベルにより、コマンドを手早く効率的に探し、把握して、使うことができます。(1) [リセット] ボタンを使用すると、選択したブラシのデフォルト設定を復元できます。(2、3、4) すべてのブラシに共通のコントロール、(5、6、7) ブラシ固有のコントロール、(8) [詳細 ブラシ コントロール] ボタンを使用すると、アクティブなブラシ バリARIANTに関連するパネルにアクセスできます。

プロパティ バーには、選択したブラシ カテゴリやブラシ バリARIANTに応じたフライアウトが用意され、アクティブなブラシ タブに関連してよく用いられる機能にアクセスできます。



リアル水彩ブラシ バリARIANTのプロパティ バー: (1) [ストローク] フライアウト、(2) [フロー マップ] フライアウト、(3) [リアル水彩] フライアウト ボタン、(4) [描点オプション] フライアウト、(5) [プリスル] フライアウト ボタン、

アイコンの背景の形は用途を示しています。正方形の背景 (4) は、ブラシのメディアのプロパティを変更する設定にアクセスできることを示します。丸い背景 (4、5) のアイコンでは、ブラシの形状を制御する設定にアクセスします。

基本的なブラシ属性を設定するには

- 1 ツールボックスで **ブラシ ツール**  をクリックします。
- 2 ブラシセレクタバーの [ブラシセレクタ] をクリックします。
- 3 ブラシカテゴリとブラシバリアントをクリックします。
- 4 プロパティバーで以下のいずれかの操作を行います。
 - ブラシサイズを設定するには、[サイズ]スライダー  を動かすか、[サイズ]ボックスに値を入力します。
 - ブラシストロークの不透明度を設定するには、[不透明度]スライダー  を動かすか、[不透明度]ボックスにパーセント値を入力します。



ブラシサイズは、[サイズ]ライブラリからサイズプリセットを選択して設定することもできます。プロパティバーで [サイズ] フライアウトボタン  をクリックし、[サイズライブラリ]ボタン  をクリックし、[ブラシサイズ]パネルのプリセットをクリックします。

右の角カッコ [()] キーを押してブラシのサイズを大きくしたり、左の角カッコ [()] キーを押してブラシのサイズを小さくしたりすることもできます。

ブラシツールがアクティブになっている場合は、数字キーで不透明度を設定できます。各数字キーはそれぞれ、固定のパーセンテージに対応しています。たとえば、1 キーは 10%、5 キーは 50%、0 キーは 100% の不透明度を指定できます。

ブラシカテゴリについて

Corel Painter 2023 には多数のブラシカテゴリが用意されており、各カテゴリ内には多数のプリセットブラシバリアントが存在しています。

カスタムブラシを作成する

Corel Painter の充実したブラシライブラリに用意されているブラシバリアントをそのまま選択する以外に、[一般]ブラシコントロールパネル内でブラシバリアントを変更することも可能です。コントロールパネルでは以下の項目を設定できます。

- [描点の種類] - メディアをキャンバスにどのように適用するかを設定します。
- [ストロークの種類] - ブラシストロークをメディアにどのように適用するかを設定します。
- [手法] および [サブカテゴリ] - 手法は、あらゆるブラシバリアントの動作を最も基本的なレベルで決定付ける設定です。手法とそのサブカテゴリは、ストロークの外観の属性を表します。
- [ソース] - ブラシバリアントが使用するペイント材料の種類を指定します。

[一般]ブラシコントロールパネルの使用方法について詳しくは、製品ヘルプの「[一般コントロール](#)」を参照してください。

[一般]ブラシコントロールパネルを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [ブラシコントロールパネル] ▶ [一般] を選択します。

ツールボックスについて

ツールボックス内のツールは、ペイント、線やシェイプの作成、シェイプの塗潰し、書類の表示と操作、選択範囲の指定などに使用できます。

以下の表で、Corel Painter ツールボックスのツールを説明します。

ツール

カラー ツール



説明

ブラシ ツールを使用すると、キャンバスまたはレイヤー上にペイントまたは描画できます。プロパティバーには、アクティブなブラシに関連して最も一般的に使用される機能が表示されます。詳しくは、「[ブラシを選択、管理、および作成する](#)」を参照してください。



スポット ツール使用すると、既存のイメージから色をサンプリングできます。プロパティバーで色の値を確認できます。スポット ツールで色を選択すると、[カラー] パネルにもその色が示されます。詳しくは、「[イメージから色を採取する](#)」を参照してください。



塗潰しツールを使用すると、色、グラデーション、パターン、テキスタイル、クローンなどのメディアで領域を塗り潰せます。プロパティバーには、塗り潰し可能な領域と使用可能なメディアのオプションが表示されます。詳しくは、「[塗潰しを使用する](#)」を参照してください。



インタラクティブ グラデーション ツールでは、キャンバス、選択範囲、レイヤー、チャンネルなどの領域を塗り潰し、グラデーションをイメージに適用することができます。詳しくは、「[グラデーションを適用する](#)」を参照してください。



消しゴム ツールを使用すると、不要な領域をイメージから消去できます。詳しくは、「[イメージ領域を消去する](#)」を参照してください。

選択範囲ツール



レイヤー調整ツールは、レイヤーを選択、移動、編集するときに使用します。詳しくは、「[\[レイヤー\] パネルを表示する](#)」を参照してください。



変形ツールを使用すると、さまざまな変形モードを使用して、イメージの領域を変更できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



長方形選択ツールを使用すると、長方形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



楕円形選択ツールを使用すると、楕円形の枠でイメージを選択できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。



なげなわツールを使用すると、フリーハンドで選択範囲を指定できます。詳しくは、「[選択範囲の基本](#)」を参照してください。

ツール



説明

多角形選択 ツールを使用すると、イメージ上のさまざまなポイントをクリックして直線セグメントで囲むことにより、領域を選択できます。詳しくは、「[パスベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



自由選択 ツールを使用すると、イメージをクリックまたはドラッグすることで、類似した色の領域をまとめて選択できます。詳しくは、「[ピクセルベースの選択範囲を作成する](#)」を参照してください。



[選択ブラシ] ツールを使うと、ペイントでフリーハンド選択を作成できます。詳しくは、「[ペイントによる領域の選択](#)」を参照してください。



選択範囲調整 ツールを使用すると、**長方形選択**、**楕円形選択**、および**なげなわ**ツールで作成した選択範囲やシェイプから変換した選択範囲を選択、移動、調節できます。詳しくは、「[変形用に選択範囲を準備する](#)」を参照してください。



クロップ ツールを使用すると、不要なエッジをイメージから削除できます。詳しくは、「[イメージをクロップする](#)」を参照してください。

整形ツール



ペン ツールを使用すると、直線と曲線のシェイプパスを作成できます。詳しくは、「[直線および曲線の描画](#)」を参照してください。



フリーハンド ツールを使用すると、フリーハンド曲線を描くことでシェイプパスを作成できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。



長方形シェイプ ツールを使用すると、長方形と正方形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



楕円形シェイプ ツールを使用すると、円形と楕円形を作成できます。詳しくは、「[シェイプを描画する](#)」を参照してください。



テキスト ツールを使用すると、文字の形をしたイメージを作成できます。[テキスト] パネルを使って、フォント、文字のサイズ、およびトラッキングを設定します。詳しくは、「[テキストを追加する](#)」を参照してください。



シェイプ選択 ツールを使用すると、**ベジェ** 曲線を編集できます。このツールを使用して、アンカー ポイントの選択や移動、コントロール ハンドルの調節を行うことができます。詳しくは、「[シェイプを選択する](#)」を参照してください。

ツール



説明

開いているセグメントまたは閉じているセグメントを切断できます。セグメントが閉じている場合は、線またはポイントをクリックすると、シェイプ パスが開いた状態になります。詳しくは、「[シェイプ セグメントを切断/連結する](#)」を参照してください。



ポイント追加ツールを使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント削除ツールを使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。詳しくは、「[アンカー ポイントを追加/削除/移動する](#)」を参照してください。



ポイント変換ツールを使用すると、スムーズ アンカー ポイントからコーナー アンカー ポイントへの変換、またはその逆の変換を実行できます。詳しくは、「[カーブを調整する](#)」を参照してください。

フォト ツール



前回使用した [クローン] ブラシ バリARIANTに素早くアクセスできます。詳しくは、「[クローンでペイントする](#)」を参照してください。



スタンプ ツールを使用すると、[ストレートクローン] ブラシ バリARIANTに素早くアクセスし、1 つのイメージ内または複数のイメージにわたって領域をサンプリングできます。詳しくは、「[オフセットのサンプリングを実行する](#)」を参照してください。



覆い焼きツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を明るくできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。



焼き込みツールを使用すると、イメージのハイライト、中間色、影の部分を暗くできます。詳しくは、「[覆い焼きと焼き込み](#)」を参照してください。

対称ツール



ミラー ペインティング モードでは、完全な対称ペインティングを作成できます。詳しくは、「[ミラー ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。



万華鏡ツールを使用すると、基本的なストロークを、カラフルで対称的な、万華鏡のようなイメージに変換できます。詳しくは、「[万華鏡ペインティング モードを使用する](#)」を参照してください。

ツール

合成ツール



説明

黄金分割ツールを使用すると、伝統的な構図技法に基づくガイドを使用して構図を決定できます。詳しくは、「[黄金分割ツールを使用する](#)」を参照してください。



レイアウト グリッド ツールを使用すると、キャンバスを分割して、構図の決定に役立てることができます。たとえばキャンバスを縦横それぞれに 3 等分して、構図の 3 分割法を適用することができます。詳しくは、「[レイアウト グリッドを使用する](#)」を参照してください。



遠近ガイド ツールを使用すると、1 点透視、2 点透視、または 3 点透視のガイドを表示できます。詳しくは、「[遠近ガイドを使用する](#)」を参照してください。

ナビゲーション ツール



手のひらツールを使用すると、イメージを素早くスクロールできます。詳しくは、「[イメージを移動する](#)」を参照してください。

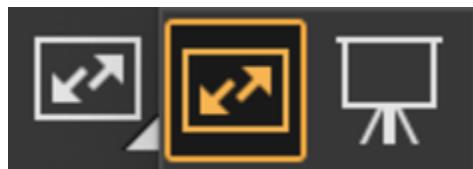


拡大ツールは、細かい作業を行うときにイメージの一部を拡大表示したり、イメージ全体を見るために縮小したりするときに使用します。詳しくは、「[イメージを拡大する](#)」を参照してください。



用紙回転ツールを使用すると、描きやすい角度になるように、イメージを回転できます。詳しくは、「[イメージとキャンバスを回転する](#)」を参照してください。

セレクタ



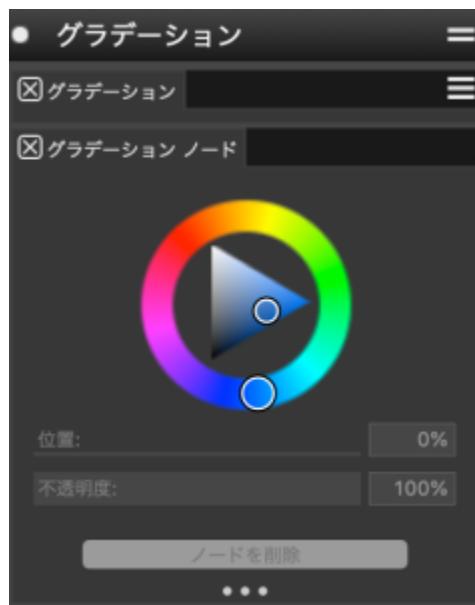
表示セレクタを使用すると、書類ビューと表示モードを切り替えられます。詳しくは、「[書類ビューを切り替える](#)」を参照してください。



ツールボックスはデフォルトで開いていますが、ツールボックスのヘッダー バーの [閉じる] ボタンをクリックして閉じることも可能です。ツールボックスを再び開くには、[ウインドウ] ▶ [ツールボックス] を選択します。

パネルとパレットについて

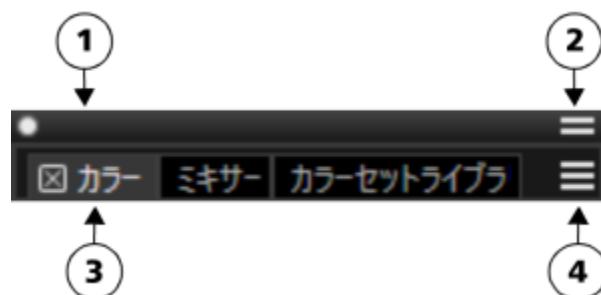
Corel Painter のインターフェイス パレットは 1 つのタブが付いたコンテナで、コンテンツ ライブラリ、コマンド、コントロール、各種設定にアクセスできます。パネルはパレット内に格納されます。パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。



このパレット引き出しには、関連する 2 つのパネル[グラデーション] と [グラデーション ノード] があります。パネルの内容にアクセスするには、そのパネルのタブをクリックします。

パネルについて

Corel Painter のほとんどのパレットにはオプション メニューがあり、関連するコマンドを実行できるようになっています。たとえば、[レイヤー コントロール] パネルのオプション メニューを使用すると、レイヤーのロック、複製、およびグループ化を実行できます。



標準的なパレットには、ヘッダー バー (1)、パレットをパレット引き出しに変換できる [パレット引き出し] ボタン (2)、パネル タブ (3)、関連する一連のコマンドにアクセスできるパネル オプション (4) があります。

次の表に、一般的に使用されるパネルの説明を示します。その他のパネルについて詳しくは、製品ヘルプの「パネルについて」を参照してください。

パネル

説明

[ブラシコントロール] パネル

[ブラシコントロール] パネルは、[ブラシコントロール] パレットに含まれています。[ブラシコントロール] は複数の [ブラシコントロール] パネルに分かれているため、作業しながらブラシバリアントを調節することも、既存のバリアントを変更して新しいバリアントを作成することも可能です。

ブラシバリアントをカスタマイズできます。詳しくは、「[ブラシコントロールを使用してブラシを調整する](#)」を参照してください。

パネル

[詳細ブラシコントロール] パネル

説明

現在選択されているブラシに関する [ブラシコントロール] パネルのグループを生成します。ブラシの形状やメディアに関するパネルには、[編集] パネルで [形状] および [メディア] ショートカットを使用すると素早くアクセスできます。詳しくは、「[ブラシコントロールについて](#)」を参照してください。

カラーパネル

カラー パネル (フル ビュー) カラー パネル (コンパクト)

メイン カラーおよびサブ カラーを選択して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[\[カラー\] パネルから色を選択する](#)」を参照してください。

ミキサー

[ミキサー] パレットでは、実際の絵具パレットと同じように色を混ぜ合わせることができます。詳しくは、「[\[ミキサー\] パネルと混合コントロールについて](#)」を参照してください。

カラーセットライブラリ

現在のカラー セット内の色が表示され、色のグループを整理できます。詳しくは、「[カラー セットを使用する](#)」を参照してください。

ハーモニー

ハーモニー ルールを使用して、カラー ハーモニーを作成できます。詳しくは、「[カラー ハーモニーを使用する](#)」を参照してください。

[レイヤー] パネルおよび [チャンネル] パネル

レイヤー

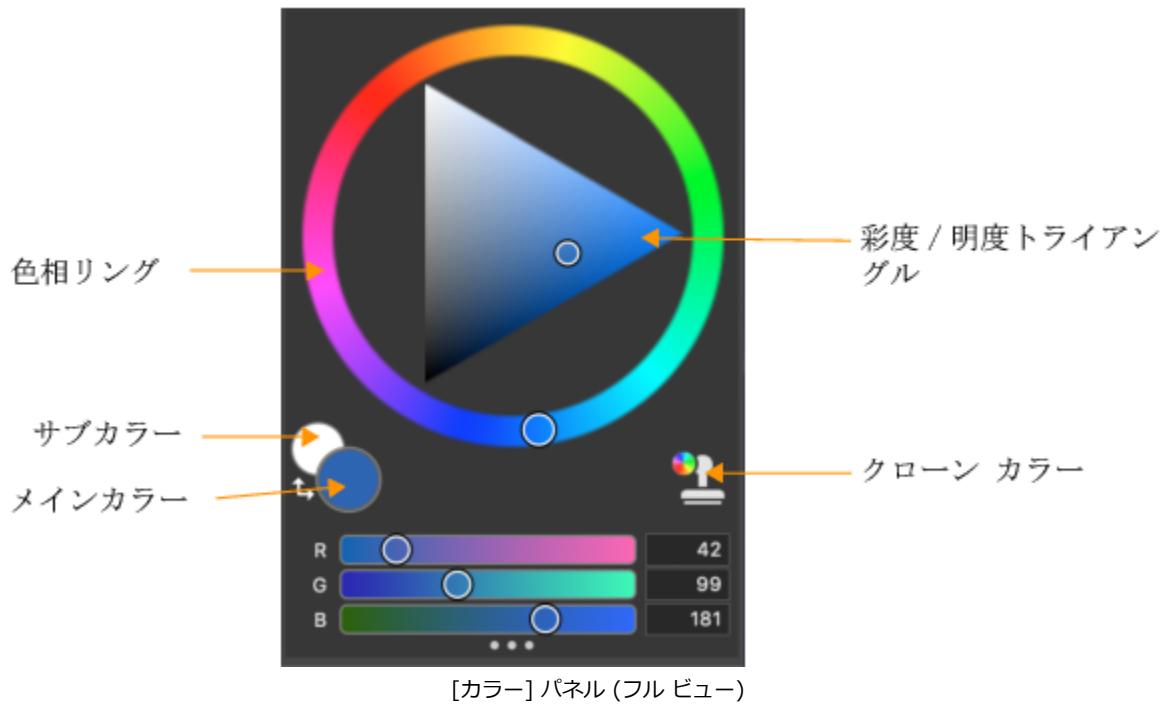
すべてのレイヤーのプレビューと操作が可能で、ダイナミック プラグインの適用、新しいレイヤー（デフォルト レイヤー、シック ペイント レイヤー、水彩レイヤーやリキッド インク レイヤーなど）の追加、レイヤー マスクの作成、レイヤーの削除を実行できます。また、合成方法や奥行き、不透明度の調節、レイヤーのロック/ロック解除を設定することもできます。詳しくは、「[レイヤー](#)」を参照してください。

チャンネル

RGB 合成チャンネル、レイヤーマスク、アルファ チャンネルなど、Corel Painter の書類内のすべてのチャンネルがサムネイル 形式で表示されます。パネルからは、既存のチャンネルを読み込み、保存、反転することも、新しいチャンネルを作成することもできます。詳しくは、「[アルファ チャンネル](#)」を参照してください。

パネルとパレットを使用する

Corel Painter 2023 を起動すると、[カラー] パネルが自動的に開きます。このパネルは、[ミキサー]、[ハーモニー]、[カラー セット ライブラリ]、[レイヤー]、および [チャンネル] の各パネルとともに 1 つのパレット引き出しにグループ化されています。[カラー] パネルには、コンパクトとフル ビューの 2 つの表示モードがあります。フル ビューでは、カラー ホイールとスライダの両方が表示されます。コンパクト ビューでは、スライダのみが表示されます。デフォルトでは、[カラー] パネル (フル ビュー) にはカラー ホイールと選択しているカラーの情報が表示されますが、これらの要素を隠すこともできます。



[カラー] パネル上の情報を隠すには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [カラー パネル] ▶ [カラー パネル (フル ビュー)] を選択します。
- 2 以下の表を参考にして操作を行います。

目的

カラー ホイールを隠す

操作内容

[カラー オプション] ボタン をクリックし、[カラー ホイール] を選択します。

カラー情報を隠す

[カラー オプション] ボタン をクリックし、[カラー スライダ] を選択します。

パネルは必要に応じて簡単に表示でき、作業が終了したら素早く閉じることができます。

パネルまたはパレットを表示する/隠すには

- [ウィンドウ] ▶ をクリックし、目的のパネル名を選択します。



既に隠されているパレットを復元するには、[ウィンドウ] を選択し、パレットに含まれているパネルの名前を選択します。

パレットの配置は、カスタム作業領域レイアウトとして保存することにより、後で再利用できます。また、不要になった時点で、そのカスタム作業領域レイアウトを削除できます。

作業に合わせて、パネルの表示を並べ替えることができます。たとえば、タスク関連のパネルを 1 つのパレットでグループ化することができます。またパレットは随時カスタマイズでき、パネルを追加または削除する、パネルの位置を変更する、パネルを別のパレットに移動するなどの操作が可能です。

パネルをパレットにグループ化するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パネルをパレットにグループ化する	パネルのタブをつかみ、開いている別のパネルにドラッグし、グループを作成します。
パネルをパレットに追加する	パネルをパレットにドラッグします。
パレットからパネルを削除する	パネルをパレットの外にドラッグします。
パレット内のパネルの位置を変える	パネルのタブをつかみ、パレット内の別の場所にドラッグします。

パレットとパネルは作業領域の前面に表示されます。ドッキングすると、パネルやパレットは Corel Painter ウィンドウの一部として、垂直の端に吸着されます。ドッキングを解除すると作業領域から切り離されて移動できるようになります。

パレットやパネルをドッキング/ドッキング解除するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレットをドッキングする	パレットのヘッダー バーをアプリケーション ウィンドウの縦方向の縁にドラッグします。パレットとウィンドウの端と端が並ぶと吸着されます。
パレットのドッキングを解除する	パネルのタブの右側の空き領域を Corel Painter ウィンドウの端から離すようにドラッグします。
パネルをドッキングする	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウの垂直の端にドラッグします。パネルの端とウィンドウの端が並ぶと吸着されます。
パネルのドッキングを解除する	パネルのタブを Corel Painter ウィンドウから離すようドラッグします。

パレットはパレット引き出しに変換できます。そのため、パレットを素早くたたんで画面スペースを節約できます。同時に、パレット引き出しを通常のパレットに戻すこともできます。パレット引き出しは、他のパレット グループと同様にサイズ変更や位置変更が可能です。

パレット引き出しを使用するには

- 以下の表を参考にして操作を行います。

目的	操作内容
パレット引き出しを作成するには	パレット ヘッダー バーの [パレット引き出し] 切り替えボタン  をクリックし、[パレット引き出し] をクリックします。
	パレット引き出しを通常のパレットに戻すには、直前の手順を繰り返します。

目的	操作内容
パレット引き出しを広げる/たたむには	パレット引き出しのヘッダー バーをダブルクリックします。
パレット引き出しを隠すには	ヘッダー バーの【閉じる】ボタン  をクリックします。
パレット引き出しを表示する	[ウィンドウ] ▶ [パレット引き出し] ▶ をクリックし、目的のパレット引き出し名を選択します。

カスタム パレットを作成する

Corel Painter では、必要な機能だけを含むカスタム パレットを作成できます。カスタム パレットを使用すると、目的の機能に素早くアクセスできます。たとえば、[ブラシライブラリ] パネルや [メディアライブラリ] パネル内のアイテムを、カスタム パレットに入れることができます。また、メイン メニューやパネル オプションのコマンドもカスタム パレットに追加できます。詳しくは、製品ヘルプの「[カスタム パレットを作成/変更する](#)」を参照してください。

カスタム パレット上のアイテムの表示方法を変更することも可能です。たとえば、テキスト、アイコン、または大きなアイコンとしてアイテムを表示できます。

カスタム パレットを素早く作成するには

- Shift キーを押し、次のいずれかの操作を行います。
 - [ブラシ セレクタ] パネルから書類ウィンドウにブラシ バリアントをドラッグします。
 - [用紙] ライブラリ ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [用紙])、[フロー マップ] ライブラリ ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [フロー マップ])、またはその他の [メディア] パネル ([ウィンドウ] ▶ [メディア パネル] ▶ [テクスチャ]、[パターン]、[グラデーション]、[ノズル]、[模倣]、[テキスタイル ライブラリ パネル]) のいずれかから書類ウィンドウに、用紙、フロー マップ、メディア ライブラリのサムネイルをドラッグします。

メニュー コマンド、コントロール、またはツールをカスタム パレットに追加するには

- [ウィンドウ] ▶ [カスタムパレット] ▶ [メニュー命令の追加] を選択します。
- [カスタム パレットの選択] リスト ボックスから [新規] を選択し、新しいパレットを作成するか、既存のカスタム パレットを選択します。
- 表示される [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、次の表のタスクを実行します。

追加するもの

メニュー アイテム

操作内容

メニュー アイテムをデフォルトの Corel Painter メニューから選択します。

その他のコントロール

メニュー アイテムを [その他] メニューから選択します。

パネル、またはパネルのオプション フライアウト メニューに含まれているアイテム

メニュー アイテムを [パネル メニュー] メニューから選択します。

ツールボックス ツール

メニュー アイテムを [ツール] メニューから選択します。

開いたパレットからのアイテム

アイテムをクリックします。

- [パレットの作成/コマンドの追加] ダイアログ ボックスで、[追加] をクリックし、[OK] をクリックします。

ワークフローを選択する

Corel Painter にはオリジナル アートワークを作成したり、制作スタイルに適したワークフローを使用したりする上で役立つ、さまざまなツールと機能が用意されています。

たとえば、Corel Painter のパワフルなクローン作成ツールを使用すると、デジタル フォトを素早くペイントに変換できます。またトレーシング ペーパー機能を使用して、フォト ベースのペインティングを開始することも可能です。トレーシング ペーパーを使用すると、クローン書類の下に半透明のソース イメージが表示され、キャンバスにクローン カラーを正確に適用できます。

実際の画材で描いたスケッチを出発点としたい場合は、スケッチをスキヤンして、Corel Painter 上でデジタルに仕上げられます。また、用紙テクスチャとブラシを選択してキャンバスに色を適用することで、Corel Painter 上でプロジェクトを一から開始することも可能です。

フォト アート: フォト ペインティング

Corel Painter を理解するために良い方法の 1 つとして、写真上でペイントしてフォトアートを作成するという方法があります。ソース イメージとして使用するフォトを用意するだけで、簡単に作業を開始できます。フォト アート作業領域レイアウトには、フォト ペインティングに関連するパレットとツールだけが表示されます。



さまざまなプリセット スタイルを使用して、写真をペイントに変換することができます。

Corel Painter には、写真などの既存のイメージをアート作品に変身させることができる、パワフルなイメージ クローン作成ツールがあります。クリック クローン機能を使うと、画像のクローンを作成するために必要なすべてを自動的に設定することや、空の書類から始めて 1 つまたは複数のクローン ソースを追加することができます。クローン ソースは、ブラシの色の参考に使われるものです。クローン ソースの色のクローンを作成し（色のコピー）、これを目的のキャンバスに適用します（書類のクローンを作成）。クローン ソースは埋め込むことも埋め込まないこともできます。クローン ソースを埋め込むと、そのクローン ソースは書類とともに保持され、ペイント中にクローン ソース間を素早く切り替えることができます。画像、テクスチャ、パターンをクローン ソースとして使うことができます。写真をペイントに変換したい場合など、クローン ソースを 1 度しか使わない場合は、画像として埋め込むことができます。クローン アセットをクローン ソースとして複数のプロジェクトで再利用する場合は、テクスチャまたはパターンとしてそれぞれ [テクスチャ] または [パターン] ライブラリに保存することができます。Corel Painter は、クローン ソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。目的に合うように構図のコンテキストでテクスチャを簡単に変形させることができます。クローンについて詳しくは、製品ヘルプの「[イメージのクローン作成と採取](#)」を参照してください。

合成イメージを作成する場合のフォトペイントのワークフローとして考えられるものは数多くありますが、ここではそのうちのひとつを説明します。Karen Bonaker 氏が手がけたペイントを例にして、埋め込み画像とテクスチャをクローンソースとして使う方法を紹介します。オリジナルのデジタルアートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

さらに Corel Painter には自動ペインティングツールが用意されており、デジタルイメージまたはスキャンしたフォトに基づくペインティングを効率よく作成できます。これらのツールを使用する上で、デジタルアートに関する経験は必要ありません。詳しくは、製品ヘルプの「[写真を自動ペインティングする](#)」を参照してください。

フォトアート作業領域レイアウトを表示するには

- [ウィンドウ] ▶ [レイアウト] ▶ [フォトアート] を選択します。

クリッククローンを使用してイメージのクローンを作成するには

- 1 クローンの作成元になるイメージを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クリッククローン] を選択します。
- 3 クローンブラシを使用し、キャンバスにブラシストロークを適用します。

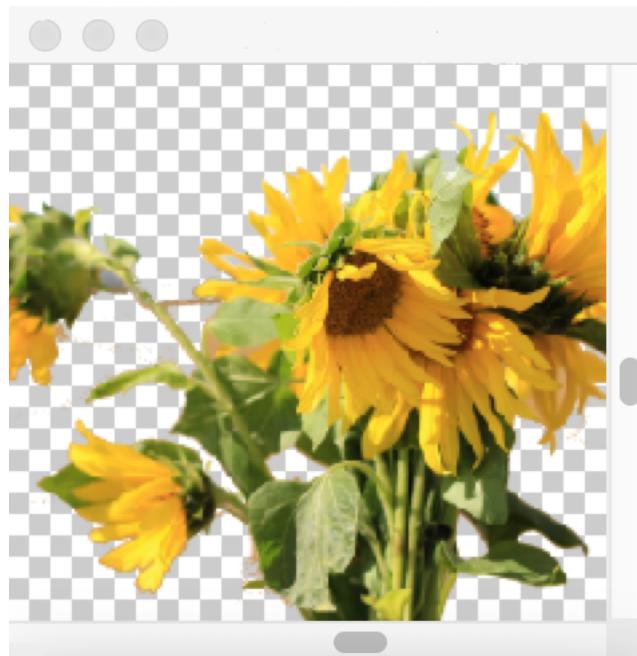
ペイント中にトレーシングペーパーのオン/オフを切り替えるには、[キャンバス] ▶ [トレーシングペーパー] を選択します。



他のブラシカテゴリからブラシを選択して、これを設定して色のクローンを作成することもできます。この場合は、[カラー] パネルの [クローンカラー] ボタン をクリックします。

書類にクローンソースを追加するには

- 1 書類を開くか作成します。



Corel Painter は、クローンソースとして透明度のある PNG および RIFF をサポートしています。この例では、Karen Bonaker 氏が透明な PNG を使用しています。

- 2 [クローンソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローンソース]) で、[ソース] リストボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。[埋め込みソースイメージ] ダイアログボックスで、[現行のドキュメント] オプションを有効にし、開いた書類のリストからクローンを作成したい書類を選択します。

ヒント: 画像を追加で埋め込むには、[埋め込みソースイメージ] ボタン  をクリックし、[ブラウズ] をクリックします。使用する画像が含まれているフォルダを特定し、[開く] をクリックします。

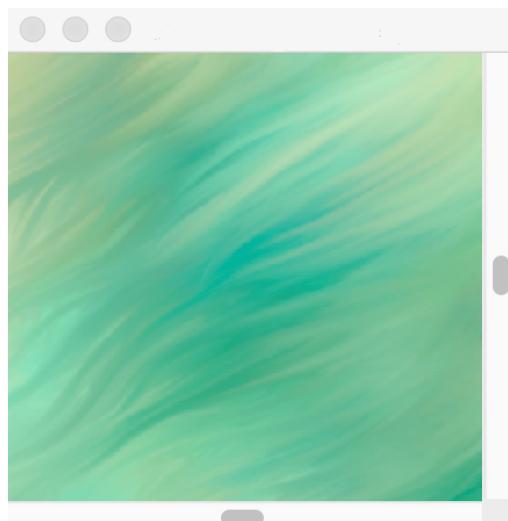
- 3 テクスチャをクローン ソースとして追加するには、[クローン ソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [テクスチャ] を選択します。リストのテクスチャのサムネイルをクリックします。テクスチャを書類ウィンドウに表示する場合は、[テクスチャを表示] チェック ボックスをオンにします。



コンテンツ アセットを作成し、[テクスチャ] ライブラリにインポートし、ペイントまたは写真のコラージュでクローン ソースとして使います。

ヒント: テクスチャのクローンを作成する前に、構図やコンセプトに合うように見た目を修正することができます。ヘルプで [テクスチャの修正](#) の詳細を確認してください。

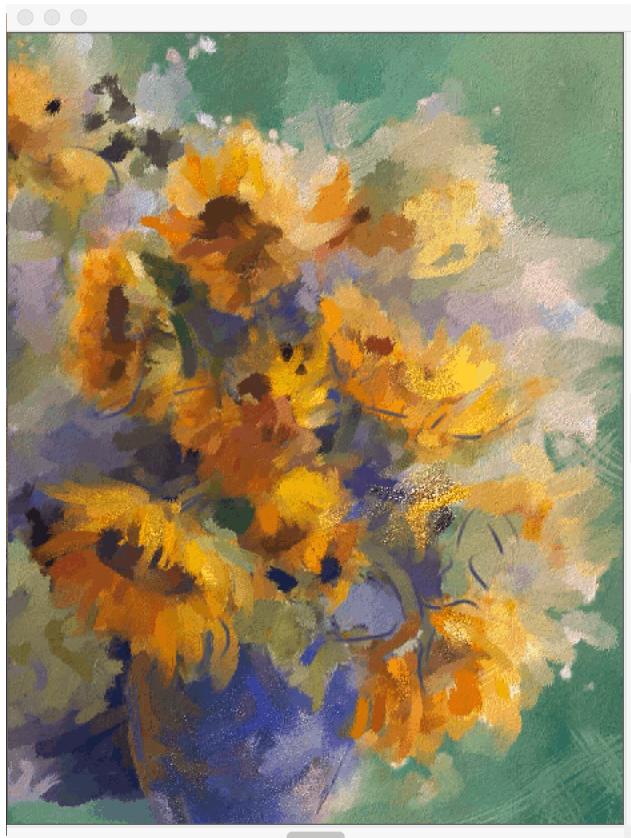
- 4 [ブラシ セレクタ] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ セレクタ] ▶ [パネル (フル ビュー)]) で、[クローン] カテゴリからブラシを選択します。
- 5 クローン書類でペイントしてテクスチャのクローンを作成します。



この例では、Karen Bonaker 氏がカスタム テクスチャを使用しています。

ヒント: テクスチャをクローン書類に埋め込んで今後使うことができるように書類とともに保存するには、[クローンソース] パネルで、テクスチャのサムネイルを右クリックするか (Windows)、Control キーを押しながらテクスチャのサムネイルをクリックし (macOS)、[クローンソースイメージとしてのテクスチャの埋め込み] をクリックします。

- 6 埋め込みソースの画像に切り替えるには、[クローンソース] パネルで、[ソース] リスト ボックスから [埋め込みイメージ] を選択します。
- 7 クローン書類でペイントして画像のクローンを作成します。描画時には、[クローンソース] パネルの [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオン/オフにすることで、トレーシング ペーパーのオン/オフを切り替えられます。



Karen Bonaker 氏が手がけたこのペイントでは埋め込み画像とテクスチャがクローン ソースとして使われています。



クローン ブラシ カテゴリ内のその他のバリエントも試してみてください。



[クローン] ブラシ カテゴリのブラシ バリエントの例。

他のブラシからクローン ブラシに切り替えるには、[カラー] パネルの[クローンカラー] ボタン  をクリックします。

フォト アート: トレース

写真にペイントする以外にも、トレーシング ペーパーを使用して写真やその他のアートワークの輪郭を描くことができます。この輪郭をペイントに利用することもできます。または、写真をトレースして木炭やチョークの描画などのスケッチを作成することも可能です。



写真をトレースしてスケッチを作成する

写真をトレースする

- 1 トレースしたい写真またはその他のアートワークを開きます。
- 2 [ファイル] ▶ [クイッククローン] を選択します。
- 3 [クローンソース] パネル ([ウィンドウ] ▶ [クローンソース]) で [トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスがオフになっていることを確認し、[クローン カラー] パネル ([ウィンドウ] ▶ [ブラシ コントロール パネル] ▶ [ブラシ メディア] ▶ [クローン カラー]) で [クローン カラーを有効にする] チェック ボックスをオフにします。
ペイント対象の元の写真を視覚的な参照として確認することができますが、ペイントに使用するカラーを選択できます。
- 4 下にあるイメージを参照しながら、キャンバス上にイメージのアウトラインを描きます。

スタイルスの筆圧を変えることで、暗いトーンや明るいトーンを適用できます。陰影は多少変化させてもかまいません。



トレーシング ペーパーの不透明度を変えるには、[クローンソース] パネルの [不透明度] スライダを動かします。トレーシング ペーパーをオフにするには、[トレーシングペーパーの表示/非表示] チェック ボックスをオフにします。

スキャンしたイラストを出発点とする

Corel Painter では、紙と鉛筆で描いた作品を簡単にデジタル化できます。今でも多くのグラフィック プロが、まずはイラストを手描きした上でスキャンし、そのイメージを Corel Painter にインポートする手法を好んでいます。

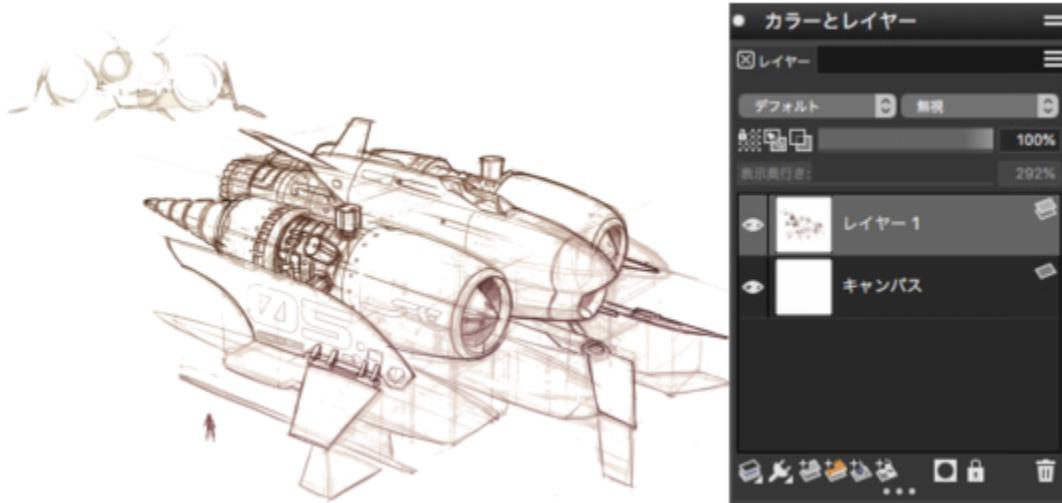
最初に、何らかの画材と紙を使用して描いたスケッチをスキャンし、JPEG 形式または TIFF 形式のファイルに保存する必要があります。

スキャンしたイラストを配置するには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] を選択して、スキャンしたイメージの配置先となる書類を作成します。
- 2 [新しいイメージ] ダイアログ ボックスで、スキャンしたイメージとほぼ同じ寸法になるように、書類の幅と高さを指定します。
- 3 [ファイル] ▶ [配置] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。

スケッチの場所に表示されるスキャンのアウトラインを使用することができます。

- 輪郭が正しい位置にあるときに書類をクリックするか、[配置] ダイアログ ボックスで [OK] をクリックします。スキャンしたスケッチが新しいレイヤーになります。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スケッチをスキャンまたは撮影すると、カラー スキナが拾った汚れや照明の映り込みなどの問題が生じることがあります。これらの問題は、キャンバスを非表示にして合成方法を変え、下にあるイメージとレイヤーのブレンド方法を調節することで簡単に修正できます。たとえば、レイヤーの合成方法を [フィルタ] に変えると、透明な背景上にスケッチが表示されるようになります。この方法では、白い部分がすべて透明になります。

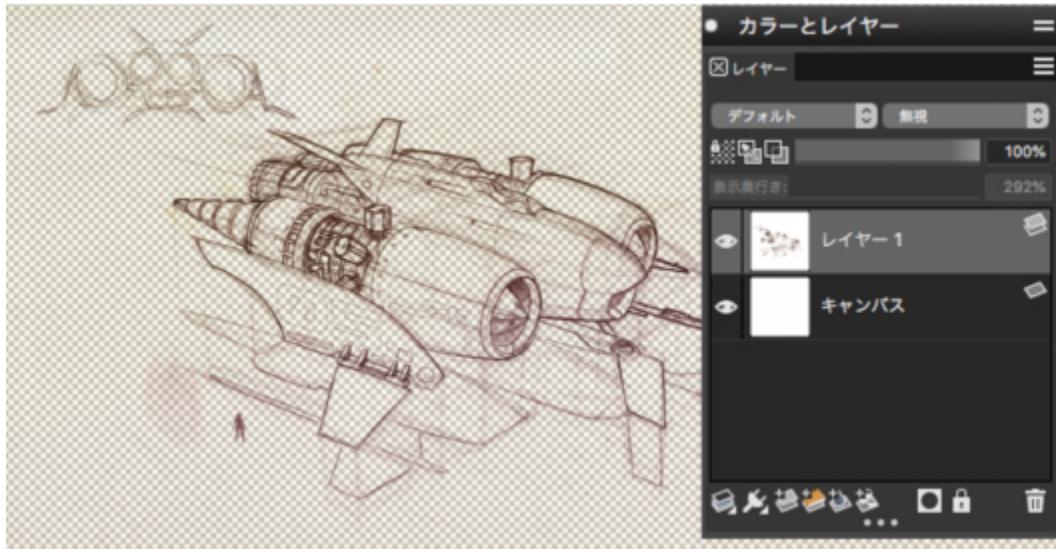
スケッチの背景を透明にするには

- [レイヤー] パネルで、キャンバスの隣にある目のアイコン をクリックします。
- スケッチ レイヤーを選択し、[合成方法] リスト ボックスから [フィルタ] を選択します。



最初に白以外の色でキャンバスを塗り潰すことにより、キャンバスが表示されているときにフィルタ モードで作業を行うことも可能です。この場合はキャンバス上でのペイントが可能なため、スケッチの下でペイントを行うことができます。この方

法を選択すると、スケッチの大部分を素早くペイントしてから消しゴム ツール  でクリーンアップできるため、多くのグラフィックプロが利用しています。



アートワーク制作:Dwayne Vance

スキャンしたスケッチを新しい書類内に配置するのではなく、スキャンしたファイルを Corel Painter 内で直接開くことも可能です。この場合は書類のサイズ指定を当て推量で行う必要はありません。なお開いたスキャン ファイルは、キャンバス上にマウントされる点に留意してください。作業をより柔軟に行うために、キャンバスから専用のレイヤーに移動することをお勧めします。

スキャンしたイラストを開くには

- [ファイル] ▶ [開く] をクリックして、スキャンしたファイルの保存先からファイルを選択し、[開く] をクリックします。

キャンバスからレイヤーに変換するには

- 1 [レイヤー] パネルで、キャンバスを右クリックし、[キャンバスを水彩レイヤーに変換] を選択します。
水彩レイヤーのデフォルトの合成方法は [フィルタ] です。
- 2 水彩レイヤーをダブルクリックし、テキスト ボックスに「**Sketch**」と入力します。
- 3 水彩以外のブラシ カテゴリに含まれるバリエントを使用したい場合は、レイヤーを右クリックし、[デフォルト レイヤーに変換] を選択します。

参考用として、シェイプおよび選択範囲を使用してスケッチ上に線画を追加することもできます。あるいは線画を専用のレイヤーにコピーした上で、ペイントイングに組み込むことも可能です。別のテクニックとして、スキャンしたスケッチを出発点とする場合にデザイナーが多用するのが、スケッチの一部分を複製したシェイプの作成です。このシェイプにブラシストロークを加えたり、塗り潰したりすることも可能です。

シェイプを使用してスケッチを複製するには

- 1 ツールボックス内の以下のツールを使用して、スケッチの一部分を複製するシェイプを作成できます。
 - ペン ツール  を使用すると、オブジェクト内に直線と曲線を作成できます。
 - フリーハンド ツール  を使用すると、フリーハンド曲線を使用してシェイプ パスを作成できます。このツールはスケッチの各領域をトレースするのに最適です。
 - 長方形シェイプ ツール  を使用すると、長方形と正方形を作成できます。
 - 楕円形シェイプ ツール  を使用すると、円形と楕円形を作成できます。
- 2 ツールボックス内の以下のツールを使用すると、スケッチの一部分をよりきめ細かく複製できます。

- ・**シェイプ選択** ツール  を使用すると、アンカー ポイントを選択して動かし、コントロール ハンドルを調節できます。
- ・**ポイント追加** ツール  を使用すると、シェイプ パス上に新しいアンカー ポイントを追加できます。
- ・**ポイント削除** ツール  を使用すると、シェイプ パス上のアンカー ポイントを削除できます。

シェイプ レイヤー上ではペイント操作ができないため、シェイプの外観を納得いくまで調整できたら、そのレイヤーを選択し、[レイヤー] パネルの [新規レイヤー] ボタン  をクリックしてシェイプ レイヤーの上にレイヤーを作成します。

- 3 ツールボックスで **ブラシ** ツール  をクリックします。
- 4 [ブラシ セレクタ] バーの [ブラシ セレクタ] をクリックして、ブラシのカテゴリおよびバリエントを選択します。
- 5 プロパティ バーで [ストロークのオプション] フライアウト ボタン  をクリックし、[パスをなぞる]  をクリックします。

パスまたはシェイプの許容幅の範囲内にブラシがある限り、自動的に輪郭に沿って描画されます。

- 6 [レイヤー] パネル内で、シェイプ レイヤー上に追加したレイヤーを選択し、ペイントします。



閉じたシェイプを使用する場合は、それらのシェイプを **塗潰し** ツール  で塗り潰せる選択範囲に変換できます。最初に目的のシェイプを選択し、[シェイプ] ▶ [選択範囲に変換] を選択します。

一から描画またはペイントを開始する

一から描画またはペイントする場合は、最初にキャンバス サイズ、解像度、および方向を設定します。キャンバス サイズと解像度を設定するときには、イメージ サイズが大きいほどより多くのイメージ詳細データを保持でき、イメージの縮小版を生成する必要が生じた場合にも画質を維持しやすいということを心に留めておいてください。詳しくは、「[解像度について](#)」と「[イメージとキャンバスのサイズを変更する](#)」を参照してください。

本書では、著名な Corel Painter マスターであるマイク トンプソンの作品をガイドとして使用しています。オリジナルのデジタルアートを一から作成するために、各種のツールや設定を積極的に試してみてください。

ペインティングの準備をするには

- 1 [ファイル] ▶ [新規] をクリックし、任意のオプションを選択してキャンバスをセット アップします。
- 2 [解像度] ボックスに値を入力します。
サンプル イメージでは、解像度を 200 dpi に設定しています。
- 3 [単位] リスト ボックスで測定単位を選択し、イメージの幅と高さを設定します。



このサンプル イメージでは測定単位にインチを使用しており、幅が 10 インチ、高さが 12 インチに設定されています。

4 [キャンバス カラー] セレクタをクリックして、カラー ピッカーからカラーを選択します。

サンプル イメージでは白を使用しています。

5 [用紙] セレクタをクリックし、[用紙] パネルから用紙テクスチャを選択します。

サンプル イメージでは、[ベーシックペーパー] を使用しています。



すばやく開始するために、[新規イメージ] ダイアログ ボックスから直接、シック ペイント レイヤー、水彩レイヤー、またはリキッド インク レイヤーを作成し、キャンバスの可視性と方向を設定し、カラー プロファイルを選択することができます。

キャンバスの最大サイズは、16,382 × 16,382 ピクセルです。パフォーマンス問題の発生を避けるため、作業開始時のキャンバス サイズは 16,382 × 16,382 より小さく設定してください。これはエッジの近くでペイントや効果を適用した場合に、レイヤーが拡張される可能性があるためです。

フォト、デザイン、または別のデジタル アートをベースにしてペインティングを開始する場合は、[参照イメージ] パネルを使用することで、インスピレーションの元となったビジュアル ソースを見ながら作業を行えます。これはワークフローを中断することなく、アートワークの向上に役立つ微妙なニュアンスを捉える上で効果的な方法です。パネルのサイズを変更するには、右下隅からドラッグします。[参照イメージ] パネルでは、イメージから色を採取する、イメージの位置を変える、拡大/縮小表示するといった操作も可能です。



参照イメージを表示するには

- 1 [ウィンドウ] ▶ [参照イメージ] を選択します。
- 2 [参照イメージ] パネルで、[参照イメージを開く] ボタン をクリックします。
- 3 [参照イメージを開く] ダイアログ ボックスで、開くファイルの名前を検索して選択します。
開くことができる参照イメージは、JPG、PNG、RIFF、および PSD のファイル形式で保存されている必要があります。
- 4 [開く] をクリックします。



[参照イメージ] パネルで複数レイヤーを含む RIFF、TIFF、または PSD 形式のファイルを開くと、すべてのレイヤーが結合されます。

参照イメージから色を採取するには、**スポットツール** をクリックし、採取したい色の位置までカーソルを動かしてクリックします。カラー タイルが、スポットツールで選択した色に変わります。

書類のセットアップが完了したら、ブラシと色を選択してペインティングを開始できます。Corel Painter では、実際の表現手段を念頭に置いて設計された各種のブラシが用意されているので、ブラシがどのように機能するかを予測できます。Corel Painter のブラシは、油彩や水彩だけでなく、鉛筆、ペン、パステルなど、多種多様な画材でペイント/描画することができます。

ブラシ バリアントとも呼ばれる個々のブラシがブラシ カテゴリ別にブラシ セレクタに保存されています。詳細は、13 ページの「[ブラシを選択/変更する](#)」。を参照してください。

ブラシ バリアントはそのまま使ってもよいですし、目的に合わせて調節して使うこともできます。多くのアーティストが、ブラシ バリアントのサイズ、不透明度、粗さ (ブラシストロークの用紙テクスチャに対する反応) などの項目を微調整して使用しています。これらの設定はプロパティバーにあります。

ブラシを選択し、色を変更するには

- 1 ツールボックスで **ブラシツール** をクリックします。
- 2 ブラシ セレクタバーでブラシ カテゴリを選択し、ブラシ バリアントを選択します。
サンプル イメージでは、Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [ソフト 2B 鉛筆] を選択しています。
- 3 色を変更するには、[カラー] パネルの [色相リング] をドラッグし、使用する色の範囲を表示してから、[彩度/明度トライアングル] をクリックして色を指定します。

[彩度/明度トライアングル] の一番上は最大値(白)で、一番下は最小値(黒)を表します。彩度は、左から右に増加します。右にドラッグするか、右側をクリックすると、彩度が高くなり主色相の純色に近くなります。左にドラッグするか、左側をクリックすると、彩度が下がり「くすんだ」グレーがかった色になります。

このサンプルイメージでは、Mike は明るい青色を選択しています。

ペイント作業を一から開始する場合は、ペイントの各要素をそれぞれ個別のレイヤーに配置することをお勧めします。これにより、あるレイヤーのコンテンツを他のレイヤーやキャンバスから独立して変更および操作できます。また、あるレイヤーをスケッチとして使用し、そのスケッチをトレースすることで別のレイヤー上により詳細で正確なイメージを描くことも可能です。

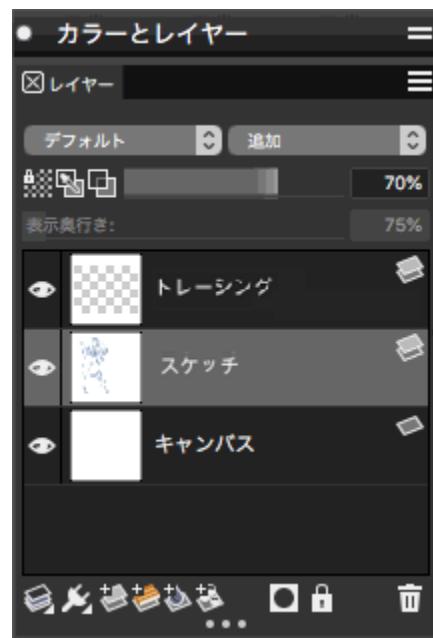
レイヤーを追加/管理するには

- 1 [レイヤー] パネル ([ウィンドウ] ▶ [レイヤー]) で、[新規レイヤー] ボタン  をクリックし、スケッチ レイヤーを作成します。
- 2 [レイヤー] パネルの新規レイヤーをダブルクリックし、「Sketch」と名前を付けます。
- 3 ツールボックスでブラシ ツール  をクリックし、ペイントのベースになるラフ スケッチを作成します。



アートワーク作成者:マイク トンプソン

- 4 トレーシング レイヤーとして使用する新しいレイヤーを作成し、「Tracing」と名前を付けます。
- 5 Sketch レイヤーを選択して、[不透明度] スライダを 70% の位置に動かします。



6 トレーシング レイヤーを選択し、別のブラシ バリアントと色を選択して、スケッチをベースにしたより明瞭なラインによる描画を開始します。



Mike は [鉛筆] ブラシ カテゴリから [鉛筆] を選択しています。アートワーク作成者:マイク トンプソン

スケッチをトレースし終わったら、Corel Painter 2023 によるさまざまな機能を活用してペインティングを仕上げることができます。



アートワーク作成者: マイク トンプソン

Mike はこのペインティングを仕上げるために、塗潰しツール、[油彩] および [ブレンド] ブラシ カテゴリ内のブラシ、ミキサーパッド上で混ぜ合わせた色、およびその他のさまざまな機能を活用しています。

このペインティングのより詳しい作成方法、またはマイク トンプソンに関する詳細情報はオンラインで入手できます。

その他のリソース

以下に示す Corel Painter のオンライン リソースで詳細な製品情報を入手していただけます。また、Corel Painter のコミュニティにもご参加ください。

リソース

Corel Painter Web サイト

Corel Painter チュートリアル

Twitter の Corel Painter ページ

Facebook の Corel Painter ページ

Corel Painter ファミリーについて詳しくは、www.corel.jp をご覧ください。

アクセス先

<http://www.painterartist.com>

<http://www.youtube.com/user/PainterTutorials>

<http://www.twitter.com/corelpainter>

<http://www.facebook.com/corelpainter>